

序 言

「鳴門の渦潮」世界遺産登録学術調査検討委員会

委員長 金田 章裕

本報告書は、徳島県と兵庫県が目指す、「鳴門の渦潮」の世界遺産登録に向け、『鳴門の渦潮』世界遺産登録学術調査検討委員会」が主催した学術調査検討委員会委員による研究報告集である。

本委員会は、徳島県と兵庫県が協議し、兵庫県が「鳴門の渦潮」の自然的側面について、徳島県が「鳴門の渦潮」の文化的側面について調査検討を進めるという分担によって出発した。従って本報告書は、「鳴門の渦潮」の文化的側面を取り上げた報告書であり、「鳴門の渦潮」の全貌を取り上げたものではない。

委員は金田章裕（委員長）・藪田貫・福家清司の3名であり、平成27年8月から別表に掲げる10名の専門委員とともに、調査研究を開始した。絵画・文学・芸能など文化の側面からの調査研究をお願いしたのが4名、通商・観光・メディアなど往来を中心とした面から調査研究をお願いしたのが4名、漁業・塩業などの生業の面から調査研究をお願いしたのが2名であった。このような研究体制の中で、平成28年1月に中間報告会を行った結果、十分に調査研究が及んでいなかった側面のあることが判明し、いくつかの新たな視点を加えることとなった。それが、中世以前の鳴門、徳島藩政との関わり、古地図における表現、徳島に來住したポルトガル人モラエスの視角、外国人からみた「鳴門の渦潮」などであり、これらについては、別表に掲げる4名の専門委員をお願いして、調査研究を進めていただくこととなった。平成29年2月1日から2日にかけて、2日間にわたる報告会を経て、最終的にその結果をご報告いただいた調査研究の成果が、本報告書である。

本報告書を編集するに当たり、内容の理解が容易になるように調査研究の過程とは別に、全体を次のような4部構成とした。

- 第1部 名所「鳴門の渦潮」の成立
- 第2部 名所「鳴門の渦潮」と阿波・淡路
- 第3部 名所「鳴門の渦潮」と産業
- 第4部 名所「鳴門の渦潮」の展開

このうち第1部では、中世以前の鳴門海峡を概観したうえで、古典文学に描かれた「鳴門の渦潮」を検討し、さらに「鳴門の渦潮」の近世における絵画の表現、ならびに古地

図の表現を精査した。

第2部では、徳島藩蜂須賀家の鳴門海峡支配、大坂・鳴門間の近世の見物や往来の手続き、「鳴門の渦潮」を望む大毛山の近世末の状況、さらに近世の鳴門撫養湊と淡路回船の盛況が究明された。

第3部では、先ず、鯛漁やワカメ領漁・養殖など多彩な漁業が取り上げられ、さらに製塩業の展開とその各地での実態が総括され、製塩業は消滅したものの、そこから展開した製薬業について詳説された。

第4部では、淡路と阿波の人形浄瑠璃、「観光地鳴門」の形成や発展、近現代文学作品における鳴門、徳島に永住したポルトガルの軍人・外交官であったモラエスなどが取り上げられ、さらに西洋人から見た「鳴門の渦潮」が総覧された。

本報告書によって、近世に名所として確立した「鳴門の渦潮」が様々に時々の歴史の中で展開し、生活・生業とかかわりつつ、近代の観光地となった過程を明確にし得たと思われる。

「鳴門の渦潮」世界遺産登録学術調査報告書作成の取組経過

■ 検討委員会等の開催状況

2015（平成27）年4月18日	第1回「鳴門の渦潮」世界遺産登録学術調査検討委員会 ・委員による現地視察 ・調査検討の進め方について
2015（平成27）年8月21日	第2回「鳴門の渦潮」世界遺産登録学術調査検討委員会 ・学術調査の内容について ・学術調査の実施方法について ・学術調査の項目等について
2016（平成28）年1月22日	第3回「鳴門の渦潮」世界遺産登録学術調査検討委員会 ・専門委員による学術調査の中間報告及び質疑応答
2016（平成28）年4月7日	「鳴門の渦潮」世界遺産登録学術調査検討委員会委員打合せ ・学術調査検討委員会の調査に対する評価について ・今後の方向性について
2016（平成28）年5月12日	第4回「鳴門の渦潮」世界遺産登録学術調査検討委員会 ・平成28年度学術調査について ・平成28年度学術調査の重点項目について
2016（平成28）年9月6日	第5回「鳴門の渦潮」世界遺産登録学術調査検討委員会 ・専門委員による学術調査報告及び質疑応答 ・専門委員による学術調査の進捗状況報告及び質疑応答
2017（平成29）年2月1日	第6回「鳴門の渦潮」世界遺産登録学術調査検討委員会 ・専門委員による学術調査報告及び質疑応答
2017（平成29）年2月2日	「鳴門の渦潮」世界遺産登録学術調査検討委員会委員打合せ ・専門委員による学術調査報告及び質疑応答（予備日） ・報告書とりまとめに向けた協議

別 表

■ 検討委員会委員名簿

(平成29年3月8日現在)

委員長	金田 章裕	京都府立京都学・歴彩館館長／京都大学名誉教授
委員	藪田 貫	兵庫県立歴史博物館館長
委員	福家 清司	公益財団法人徳島県埋蔵文化財センター理事長
専門委員 (平成27年8月～)	大久保純一	国立歴史民俗博物館教授
	小島 明子	鳴門教育大学教授
	笹尾 佳代	神戸女学院大学准教授
	大和 武生	阿波農村舞台の会理事長
	森本 幾子	尾道市立大学講師
	町田 哲	鳴門教育大学准教授
	松永 友和	徳島県立博物館主任
	佐藤 正志	摂南大学教授
	磯本 宏紀	徳島県立博物館主任
	小橋 靖	日本塩業研究会
専門委員 (平成28年9月～)	平井 松午	徳島大学総合科学部部長・教授
	宮崎 隆義	徳島大学大学院総合科学研究部教授
	モートン常慈	徳島大学大学院総合科学研究部准教授
	根津 寿夫	徳島市立徳島城博物館主任主査兼係長

目 次

序 言	1
鳴門海峡の位置と環境	7
第1部 名所「鳴門の渦潮」の成立	
1 原始・古代・中世の鳴門海峡.....福家 清司.....	15
2 古典文学に描かれる「鳴門の渦潮」.....小島 明子.....	357
3 江戸時代絵画に描かれた鳴門海峡.....大久保純一.....	27
4 古地図・絵図にみる「鳴門の渦潮」.....平井 松午.....	39
第1部 「名所『鳴門の渦潮』の成立」の概要	金田 章裕..... 70
第2部 名所「鳴門の渦潮」と阿波・淡路	
5 徳島藩蜂須賀家の鳴門海峡支配.....根津 寿夫.....	75
6 大坂から阿波・徳島への往来について - 渡海の手続きと「鳴門」見物の旅を中心に -	松永 友和..... 381
7 『鳴門辺集』にみる一八世紀末の鳴門・撫養地域 - 鳴門海峡をのぞむ大毛山を中心に -	町田 哲..... 404
8 19世紀における撫養湊の発展と淡路廻船	森本 幾子..... 109
第2部 「名所『鳴門の渦潮』と阿波・淡路」の概要	藪田 貫..... 132
第3部 名所「鳴門の渦潮」と産業	
9 鳴門海峡における漁業と鳴門の漁民 - 「鳴門鯛」と「鳴門わかめ」 -	磯本 宏紀..... 137
10 淡路島と鳴門市域の塩業 - 土器製塩から現代の塩業まで -	小橋 靖..... 441
11 鳴門市域の製薬業 - 明治時代から昭和初期までに発展した苦汁工業を中心に -	小橋 靖..... 163
第3部 「名所『鳴門の渦潮』と産業」の概要	藪田 貫..... 203
第4部 名所「鳴門の渦潮」の展開	
12 阿波と淡路の人形浄瑠璃.....大和 武生.....	207
13 「観光地・鳴門」の形成・発展とメディア	佐藤 正志..... 220
14 日本近現代文学作品における鳴門イメージの創出と変容 - 名勝・冒険・大衆ロマン -	笹尾 佳代..... 242
15 モラエスがみた「鳴門の渦潮」 - 風景論の観点から -	宮崎 隆義..... 255
16 西洋人の目からみた「鳴門の渦潮」	モートン常慈..... 316
第4部 「名所『鳴門の渦潮』の展開」の概要	藪田 貫..... 344
鳴門海峡周辺関連年表	347